

(第1面)

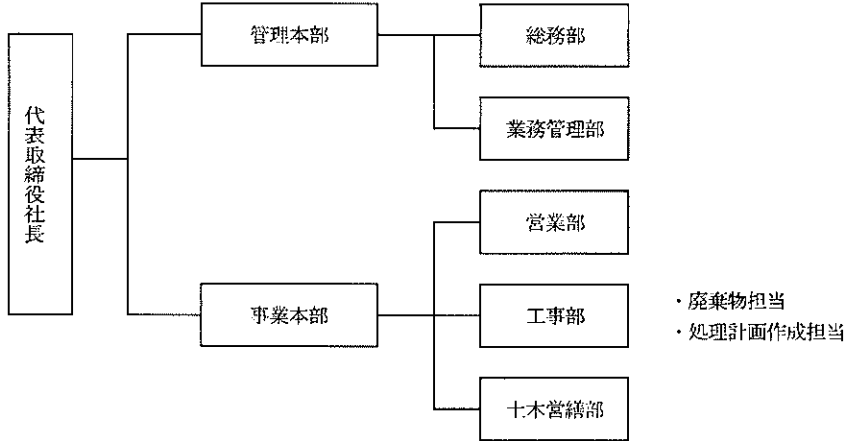
産業廃棄物処理計画書	
令和2年 6月 30日	
福岡県知事 小川 洋 殿	提出者 住所 福岡市東区千早2丁目2番43号 氏名 株式会社 三和興業 代表取締役 大山 哲寿 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 092-671-1855
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 三和興業
事業場の所在地	福岡市東区千早2丁目2番43号
計画期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：建設業 中分類：職別工事業 小分類：はつり・解体工事業 (0796)
②事業の規模	前年度完工高 3,565百万円
③従業員数	40名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">株式会社 三和興業</div> <pre> graph LR Root[株式会社 三和興業] --- W1[がれき類 木くず] Root --- W2[その他がれき ガラス・陶磁器くず 混合廃棄物] Root --- W3[廃プラスチック類] Root --- W4[廃石膏ボード] Root --- W5[繊維くず 紙くず] Root --- W6[石棉含有廃棄物] Root --- W7[廃蛍光管 (水銀使用製品)] W1 --- P1[自社中間処理 破砕] W1 --- P2[委託中間処理 破砕] P1 --- O1[有価販売 (再生利用)] P2 --- O1 W2 --- P3[自社・委託中間処理 破砕・選別] P3 --- O2[有価販売 (再生利用)] P3 --- O3[委託処分 安定型埋立] W3 --- P4[自社・委託中間処理 破砕・選別] P4 --- O4[自社処分 安定型埋立] W4 --- P5[自社・委託中間処理 破砕] P5 --- O5[有価販売 (再生利用)] W5 --- P6[自社・委託中間処理 破砕・選別] P6 --- O5 W6 --- O6[自社処分 安定型埋立] W7 --- P7[委託中間処理 破砕・選別] P7 --- O7[有価販売 (再生利用)] P7 --- O8[委託処分 安定型埋立] P7 --- O9[委託処分 管理型埋立] </pre> </div>



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	別紙の通り	
	(これまでに実施した取組) 解体現場における作業工程を見直し、廃棄物の排出量削減を図った		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	別紙の通り	t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き、解体対象の構造に合わせた効率的な作業工程の見直しを図る		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別解体・分別収集の徹底
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 引き続き、分別解体・分別収集を徹底

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙の通り	t
	(これまでに実施した取組) 再生利用し自社使用及び有価販売		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙の通り	t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き、再生利用し自社使用及び有価販売を行う		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙の通り	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙の通り	t
(これまでに実施した取組) 中間処理においては、破碎・選別により再生品として自社使用及び有価販売している			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙の通り	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙の通り	t
(今後実施する予定の取組) 引き続き、中間処理において、破碎・選別により再生品として自社使用及び有価販売をおこなう			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙の通り	t
	（これまでに実施した取組） ガレキ・ガラス陶磁器くずの再生処理を行った。 廃プラスチックについても、分別の上再生できる物は再生処理を行う。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙の通り	t
	（今後実施する予定の取組） 引き続き、廃プラスチックについては、分別の上再生できる物は再生処理を行う		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	別紙の通り	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙の通り	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙の通り	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙の通り	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙の通り	t
	（これまでに実施した取組） 解体現場の所在地に応じ、自社および委託再生施設で処理している		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	別紙の通り	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙の通り	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙の通り	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙の通り	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙の通り	t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き、解体現場の所在地に応じ、自社および委託再生施設で処理する		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

